

## 65歳の悪あが記 第三弾

### 【車中泊の旅・・・いよいよ北海道へ！？】



栗田 哲郎

かねてより楽しみにしていた、「北海道 1カ月間 車中泊1人旅」。期は熟したとばかりに9月2日に準備万端にて出発！！福島、宮城、岩手の東北大震災地の太平洋岸を北上。予定通り、5日に青森に到着。明日はフェリーにて函館へ！と言うまさに6日午前3時に**北海道大地震**。青森でもかなり揺れたが、まアどうにかなる、当然渡るつもりでいた。テレビを観ていても詳細不明、その後家族、友人達から今北海道行きは危険！危険！の電話やメール、、、行く先々の道路が寸断されてるのでは？頼みのコンビニは？天気も先々良くなく2次被害は？余震は？など分らないことだらけ。悩んだが、“**勇気ある撤退**”を決め、フェリーをキャンセル。急遽東北の旅に変える事にした。運が悪かったのか渡る直前で良かったのか？その後の情報を聞くにつれ、明らかに正しい判断だった！！



5000キロ、1カ月を予定していた

青森港、このフェリーに乗って行く予定がwww

ということで、今回は【東北車中泊の旅！】です。

♪みちのく ひとり旅～～♪ 15泊



【以下ルート順 不同、思い出すままに・・・】

【道程】：

黄色線は青森までの往路 赤線は北海道を諦めての東北旅】



## 走行3000キロ

### 【宿泊地】

岩手：宮古 雫石 青森：青森市、弘前、奥入瀬 秋田：秋田港  
山形：酒田、山形市 宮城：鳴子、石巻、仙台2泊 福島：猪苗代  
茨城：奥久慈

### 【モットー】

- ①基本 高速道路は使わない
- ②17時までに宿泊地到着
- ③朝7時には行動開始
- ④200キロ/日以下のゆったり走行
- ⑤折角の一人旅。恥も外聞も無い積極的話しかけ、情報入手

=====

### 【名所編】 もう一度行きたい感動の地は？

1位：奥入瀬溪流・・・十和田湖から流れる14キロの清流。

次回はキャンバス持って溪流歩きたい！



多くの画家が描いてきた

清流に飽きること無し！

Nice Body! By高村

2位：蔵王・御釜・・・IY-ラインの快適山岳ドライブ、時に怖し！蔵王温泉行けず



幸運にもエメラルドグリーンが

近年火山活動が活発化。釜カツ井が旨そうだった

蔵王不動滝

3位：角館・ご存知黒板塀に囲まれた武家屋敷町。たまたま年一度の祭礼中 次は枝垂桜の季節に又行きたい



武家屋敷

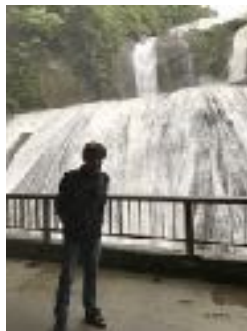


角館祭り



秋田蘭画の小田野家  
有名な小田野直武の  
『解体新書』扉絵

4位：袋田の滝・・・茨城 こんな迫力ある滝を目と鼻の先で！



【たまたま寄った宮城 秋保大滝】

☆日本三大瀑布：華厳の滝 那智の滝(熊野)、三つ目は諸説ありで袋田の滝、秋保大滝も・・・

5位以下：下記も全て捨てがたい



羽黒山五重塔



鶴ヶ城



大内宿(会津)

【明治以来初めて内部公開中】



【つつい墓石の年代を見てしまう・・・享保以前は中々見つからない】



竜飛岬



土産売り元気婆ちゃん



津軽海峡冬景色♪♪ 定番 松島



瑞巖寺 伊達藩



会津磐梯山



五色沼



秋田 セリオン

【絶景秋田一望】



この夕日が⇒



男鹿 入道崎 残念！

友人お勧めの「鯛の石焼」も休業日！

### 【旨いもの編】

・・・一人ではどうしても有名店なりでの名物を食す気になれず今回も結構質素www

①蕎麦好き・・・と言っても食通ではなく、コンビニカップ麺でも可(笑)



山形尾花沢「板蕎麦」



大内宿「葱蕎麦」



困った時のコレ！

②牛タン・・・仙台で食す。ピンキリだが、今回のこれは美味中の美味！

芋煮・・・山形。芋煮会日程合わぬも市内で食す。シンプルかつ旨し。



ずんだ餅 辛党の小生の好物

③各種漬物・・・日本人に生まれて良かった！東北は漬物の宝庫



仙台長茄子



秋田いぶりがっこ



山形赤かぶ


etc

④ババヘラアイス・・・200円！芸術的！旨し！秋田only



角館にて食す。歩き疲れ美味かった！

【いい湯だな～ 編】

全て立ち寄り入浴 



秋田 乳頭温泉



宮城 作並温泉



宮城 秋保温泉

【秘境の湯よくまあこげなところに・・・】

【岩松旅館 仙台から横浜への転居時連れて来てもらった思い出の岩風呂】



青森 酸ヶ湯温泉



番頭さん？



宮城 鳴子温泉入浴料¥150！

【歴史に思いを馳せ 編】

①**米沢藩**：と言えば直江兼次そして何と言っても上杉鷹山。「為せば成る、なさねば成らぬ・・・」の名言、『伝国の辞』での国家も人民も私してはならぬとの姿勢で藩政立て直す。民主主義施政者の権化！今の世、学ばせたき施政者多し！ **久保田藩佐竹氏**：常陸より転封。久保田城跡地の千秋公園へ。ここも他藩同様天災、飢饉、家臣団を食わすため常に財政難。追い打ち掛ける様に江戸と国元一年交代の参勤交代。加賀藩あたりは別として、藩主は勿論家臣は如何に苦しんだろうかと思ひ馳せる。山超え、川超え何の為に？足輕あたりに行ってみれば江戸行きはそれはそれで楽しみなことであつたのだろうか？と車を飛ばしながら考える。



②何故に芭蕉は旅に出た？

西行の歌枕を訪ねて？杜甫・李白の影響？生涯何としても白河の関を越えてみたかった？人生は旅！？『月日の百代の過客、行きかう年も旅人』

ウーム、何故なんだろう？2400キロ、5か月間。道路事情からして大変な旅。我がシエンタ君でもウンウン唸る。やはり、旅という苦行を通して限界の打破、新たな境地・俳諧への挑戦、、、ということか。

『炎暑逃げ 一人徘徊(俳諧) みちのく路』・・・夏井いつきに叱られる！？



芭蕉



山寺・立石寺



閑かさや・・・ 門前



守り猫？

そら  
☆曾良との吟行

芭蕉：どうだ、曾良よ 一句何か良いものひらめいたか？

曾良：いいえ、宗匠様 何せこの空腹！もうフラフラにて何も思い浮かびませぬ、

芭蕉：そうよな、今日もあそこに見える山坂超えること考えるだけでも萎えるな  
w一句詠んでもここでは誰もわしらの事知らん故、何も恵んではくれんwww

曾良：あれに見える、柿、旨そうでございます。幸い誰もおりません。チョとひとつ拝借ませぬか！？・・・

芭蕉：そうよな、、一句浮かんだわい！

『柿食えば 鐘が鳴る也 立石寺』・・・てかつ！！

曾良：宗匠様、そ、それは！！まさにパクリでは・・・wwwwww

こんな楽しい旅だった？？？ と思いたい。

☆「旅に病んで 夢は枯野を かけ廻る」・・・あちらの世界で今でも旅を続けているか。

Q：上記会話には二つの大きな間違い・矛盾が。それはなア～に？？？

ぼーっと生きてなければ分かるかと・・・答えは最後

### ③藩校：江戸末期 全国に270校も！

江戸検定試験でも似たり寄ったりで名を憶えるのに苦労した藩校。水戸弘道館、会津日新館、江戸昌平坂学問所ぐらいならまだしも・・・。藩士子弟への儒学・医学・武術など教え、幕末・明治への人材育成の足掛かり。今回ジックリみた庄内藩致道館。幕府が朱子学を強いる中、廃校に至るまで徂徠学を教学とし、個性を重んじ自ら考えることを重視する。タイムスリップして雑音無い中で学んでみたい欲求にかられ、畳座敷から離れがたかった。



### ④鶴ヶ城：朝敵の汚名を着せられたまま戊辰戦争で敗れ、会津藩は没収。移

住した旧会津藩士らは下北の寒冷地斗南藩となみでどのような思いで生き



たのだろうか？きっと耐えに耐える会津魂を発揮し、「ならぬことはならぬ」の『<sup>じゅう</sup>什の掟』をしっかりと受けついでいったのだからなア……。白虎隊19人が眠る飯盛山や藩校日新館にも行きたかったが残念。



【八重の桜】



会津のおなごは強し！



## 【運動編】

運転ばかりじゃ体に良くない！立派！50mプールガラガラ



宮城県総合プール・利府市



秋田県総合プール・秋田港近く

身体スッキリ！

## 【交流編】

①秋田犬・・・説明不要。賢く何しろカワイイ！あちこちでパチリ、



②金石農業高校・・・まだ余韻冷めずっ

小生も当初から応援。感動もらいました！と言うだけでもう仲良し地元民に！



### ③面白き人びと

- ・水温低い猪苗代湖で平気で泳ぎまくるアメリカ老夫妻、cold?の問いにtoo hot!!との返事。泳げる水温じゃね〜！発想がすげ〜！
- ・北海道から逃げ出して来た1人旅のご同僚たち。自慢話に花咲く
- ・365日かけて日本一周バイク旅、270日目と言う自称無職の若者
- ・地元愛を一時間話してくれた奥入瀬の煙草スパパおじいちゃん
- ・小生からの声掛けに全く無視、関東ナンバーの宮古の堤防での釣りおじさん  
小魚一匹つれてなかった・・・(悲)
- ・仙台の女性は皆優しい！と言ったら、全否定した地元出身、温泉ホテルの女性

④飲み会・・・弘前で(元同僚)、仙台で(親族と)、仙台で(もと上司と)牛タン、長茄子、だだっちゃ豆、裏霞に一ノ蔵・・・酒も肴も◎



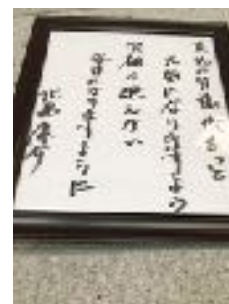
**【東北大震災】**・・・7年半経てど道半ば、、と言うよりまだまだこれから！

青森に向かったの往路、石巻～女川の仙石線沿い、北上し気仙沼、陸前高田の陸中海岸、更に北上しての大船渡、釜石、宮古の陸中海岸のクネクネ海岸道を走る。驚くべき事はダンプカーの多さ。日本中のダンプが結集？と思わせる程。10年前製我がカーナビの案内道は悉く分断され、4～5メートルの防潮壁が建造され、遠い彼方に住宅らしきものがポツンポツンと。改めて思う。次から次に日本列島を襲う大地震に集中豪雨そしてメガトン級大災害に翻弄され、ある意味慣らされ忘れ遠い世界の事と

実感の薄らぐ中、復興・再建に日々取り組む現実がここにあることを忘れてはならない。そしてさらに思う。古来何度も何度も震災に遭いながらも、何故に人びとはその地を見捨てないのだろうか？復興のパワーはどこからくるのだろうか？同様に何故に江戸庶民は度重なる大火事に江戸を見捨てず都度再建するばかりか、更に江戸の都市機能を拡大して行くことが出来たのだろうか？湾岸線を走りながら、人間の、日本人のしぶとさ、又起きるかも？と言う不安・諦めよりも、今を何とかするぞ！と言う愚直さに感心させられ、少しでも自分に出来ることは何か？を自問自答した次第であった。



綾瀬はるかの復興の願いと桜の植樹(会津)



北島康介の応援歌(宮城プール)



北部の宮古でさえ5メートルの津波(ブルーのライン)



宮古の道の駅の朝日 日はまた昇る

## 【自然I礼ギ-】

世界が再生エネルギーへのシフトを進め、過半数の国民が原発再稼働に反対する中、日本は原発を主力電源と位置付けたまま。福島だけでもその賠償額は既に8兆円超え。原発事故の責任は国にも企業にも誰にも取れない。ならば、やはり今こそ「原発ゼロ」を最大目標に掲げ、これまで日本が世界をリードしてきた太陽光発電同様、風力発電などの再生エネルギーへのシフト変換が急務！

北海道同様、津軽、男鹿、秋田など日本海側を走ると夥しい数の風力発電のブレード。この景観が美しいかどうか？は別にして、災害時や土地確保などの課題・デメリットを克服しながらの強力な推進が必要、、、と北海道地震での停電直後だけに考えさせられた。(そうは言ってもまだこうして枯渇へ向かう化石エネルギー利用

の車で旅行しているのだが)



北海道

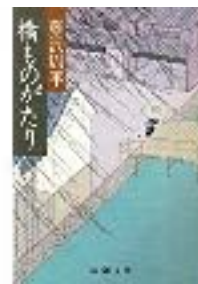


男鹿半島

### 【藤沢周平】

・ ・ 藤沢が愛した故郷、本当に文化の香り高い美しい街鶴岡。

没後20年。下級武士や庶民の哀歓を描く作品は平易な文章とも相まって大きな魅力。郷土鶴岡を愛した藤沢周平の記念館を訪れ、藤沢文学の世界に浸った。時代もの、歴史ものも良いが、「橋ものがたり」や「はしり雨」などの市井ものが好物。上杉鷹山を採り上げた「漆のみのる国」(遺作)を早速ネット購入した。鷹山+周平、、、最強のはずです。



### 【車中泊あれこれ】

#### ①今回のベスト3 OF 道の駅

- 1位：あ・ら伊達な道の駅(宮城)
- 2位：道の駅 奥入瀬(青森)
- 3位：道の駅 あきた港

#### ②今後の為に・・・

- ・ 不要物：卓上ガス、多すぎた衣類、
- ・ テレビ電波届かないところは夜寂し過ぎ 場所選定要注意
- ・ 入浴施設併設にこだわらない。高いが近隣に温泉あれば良し
- ・ 結局、予定通り行かない。朝その日の予定を大まかに決めればok
- ・ 暑さは特に夜こたえる。5月下旬～7月中旬及び9月の3カ月のみ

- ・ 駐車場所取り、要注意！エンジン切らないトラック、トイレなど



### 【それぞれの定年】・・・今やらにゃ～いつやるんや！

人生100年時代と騒がれ、やれ趣味を持ただの、もっと働けだの、定年後の夫婦のあり方はこうあるべきだの、若い内から定年に備えよと言った書物が本屋に積まれている。余計なお世話！好きなことがあるならやりゃあいいし、仕事したけりゃそれも良し(食べていけなくて仕事せにゃあかん！それも良し)、何もしなくても平気ならそれでいいじゃないか！尾畑さんの様に災害復興ボランティアに生涯かける人もいれば、カミサンに疎んじられない程度にボーッと大人しくテレビを観てる人もいる、人それぞれでいいじゃないか。人間、人からメディアからましてや国家からああしろこうしろ！言われても無駄な事。これまでそれなりに一生懸命やってきたんだから自由にさせるのが一番。お仕着せやあるべき論は無用。今回の旅でもシニア世代、戦前生まれの元気な方々にお会いすることが出来た。あの強風の竜飛岬で土産品を売るおばあちゃん、秋田に100人居ると言うババヘラアイス売りまくる御婆ちゃん達。仙台で久しぶりにお会いした74歳の元上司はサッカーにフットサル、ジム通いにゴルフとハードスケジュール、肌艶も良く酒も大いに嗜み、カラオケも腰をフリフリ、エンタテイナーそのもの。小生が通う市民プールでは83歳の女性、毎日同じ時間に同じ自己流の泳法で泳ぎ、口の運動(笑)も達者！お元気である。さて小生はと言うとまだまだ“半分 青い”小僧。今はあるいはこの1～2年は、やりたいこと、これまで出来なかったことを時間と軍資金に相談しながらやって行こうと思っている。

遊び人には体力必須！と心得て、体力維持・強化を毎日の仕事として

継続できたら最高。その先は？その時はその時。又新たにやりたいこと、目標なりが出来るに違いない(江戸文化歴史検定試験再々々挑戦はありません・・・(笑))。女性に比し男は生き方が下手！でも負けられませぬ。

## 【あしがき】

旅、、、現代社会ではテレビや雑誌、ネット他の媒体から色々な情報が入って来る。「ブラタモリ」や「新日本紀行」、〇〇バス路線の旅……。こういった番組を見ただけでその土地を知った気になり、実際行く旅はその確認旅行となってしまう。やはり工面して時間・費用を作り思いきって行って見てこの目で見、食し、出来る限り地元の人と会話させていただく。『月日は百代の過客にして・・・』、人生そのものが旅という芭蕉の思いを胸に、これからも歩いてあるいは車で訪ね、受け売りではない自分で何かを感じられる旅が出来たら最高だなと思う。

今回は地震の為、当初予定の北海道は残念であった。急遽の東北も僅か15日間となり表面的な旅となったことはゆがめない。下北半島や福島太平洋側は通ることさえ出来なかった。旅はスタンプラリーの様に単に行ったという実績作りでも無く、有名どころの確認作業でもない。地方再生とか首都機能移転とか言葉だけで一向に進まない中、その土地々の成り立ち歴史を通して今を今後を自分なりに考えられたら良いなと思う。小生の東北の今の「マイブーム」は**秋田**！やはり人口減に悩むが生き活きとした街並み、大曲や角館ほか個性的な地方、文化の香りプンプン、湯量豊富な湯治場に食材の豊かさ！勿論色白美人！(笑)。若者たちが東京に出て行く必要などどこに？と思わざるを得ない。一度東京に出ても、必ず又帰って来たい故郷づくり、そんな気概と真剣度を感じた。秋田をもっと勉強し又近々に来たいと強く思った。佐々木希さん(母親に?)も、頑張れ～～！！

今年春に定年退職し、5月の東海道五十三次17日間一人歩き旅、6

月の広島家族旅行、7月の伊豆・山梨・信州への車中泊練習の旅、8月の富士山リベンジ登頂、そして今回の東北。全てが良い経験となり思い出となりました。我がおもちゃCARでは冬季車中泊は無理なの



で、北海道、西日本は来年以降の楽しみに取っておきます。春が来るまで熊さんの如く冬眠、身体を鍛えるばかりではなく改めて「江戸博覧強記」も再読し、脳味噌の奥深く沈んだ江戸の歴史・文化を呼び戻しておきたいと思います。

SEE YOU!

### 間違いの答

- ①「柿食えば・・・」は正岡子規すなわち200年後。パクリ不可能
- ②旅は3月から8月。柿が実るところか渋柿の季節でもない。



奥入瀬溪流に負けぬ地元の清流・水無川、14～5扣のウォーキングコース 後の山は丹沢。右奥に江戸人大好き大山があります。名水自慢の秦野です。



地元「たばこ祭り」自宅より  
★磐梯山でお会いした【百名山登山中】の浜松の御同輩！  
元気か～い！！